

JA粕屋は、「農業者の所得増大」・「農業生産の拡大」への挑戦、 「地域の活性化」への貢献を柱に自己改革を進めています。

3. 認定農業者・担い手等を中心とした訪問活動の取り組み

- ①TACの訪問活動の展開と情報の提供
・TACの訪問による認定農業者・担い手等への情報発信、意見・要望に対する協議、検討を行っています。
【令和6年度実績】
1,917件



TAC訪問活動

4. 農業メインバンク機能強化の取り組み

- ①JA農機ハウスローン利用者への利子補給及び保証料助成
・当初のお借入金額が100万円以上の方、他金融機関等からの借換の方は最大1.0%の利子補給が3年間受けられます。さらに保証料負担が助成により実質0円となります。（保証料を一括で負担される場合に限りです。）
【令和6年度実績】
20件 109,400千円（内 営農資金 3件 56,800千円）



イチゴハウス高設栽培

○農業者の所得増大・農業生産の拡大

1. 農家所得向上に向けた販売先確保の取り組み

- ①契約栽培の取り組みによる、安定的な販売先確保と生産の拡大
【令和6年度実績】
・品目：ブロッコリー 2,120a (35名)
スイートコーン 548a (28名)
オクラ 62a (14名)
加工用ケール 167a (7名)
計 2,897a



スイートコーン目合わせ会



加工用ケールの出荷

②地元及び近隣地区菓子店へのいちごの青果供給

- 【令和6年度実績】
・地元及び近隣地区菓子店への供給（11月～5月）
（古賀市2店舗・福津市3店舗）



いちごフェア（トリアス山）

③販売先との契約に基づく、価格提示による有利販売

- 【令和6年度実績】
・いちご、かんきつ類の有利販売の展開
いちご販売高 230,096千円
かんきつ販売高 122,330千円
・台湾へのいちご輸出版売
・ふるさと納税返礼品目拡大中



博多あまおう出荷



早生みかん

④販売先確保に向けた直売所、インショップ売場の展開

- 【令和6年度実績】
・管内直売所及びインショップへの販売に向け、生産指導と売り場確保に取り組んでいます。
直売所（ひとまるの里）インショップ（Aコープ須恵店・久山店・米多比店・イオンモール福岡・福津店）Fコープ粕屋店



農産物直売所「ひとまるの里」



Aコープ須恵店



イオンモール福岡



Fコープ粕屋店

⑤米販売先確保の取り組み

- ・管内消費者へかすやそだち米の周知と取引拡大に向けて、チラシ配布等の活動を行っています。今後も継続してPR活動や販売拡大に取り組んでいきます。
・学校給食として管内小学校34校・中学校16校へ米飯給食の拡大に取り組んでいます。

2. 生産資材（肥料・農薬・資材）のコスト削減の取り組み

予約品目の集約による有利な価格交渉によって、良質で低コストな資材の提供に取り組んでいます。

- ①JAグループ福岡共同集約品目の取り組み
・集約品目4銘柄を設定し、価格引き下げに取り組んでいます。



（尿硫燐48・くみあい化成444・園芸化成250・NK2号）

②低コスト資材

- ・低コスト資材の供給に取り組んでいます。
殺虫剤
（ジェイエース粒剤・アフアーム乳剤・スタークル顆粒水溶剤）
殺菌剤
（ダコニール1000・アミスター20フロアブル）



価格を下げた殺虫剤

○地域の活性化

1. JAファンづくりに向けた地域密着活動の実践

○地域密着活動



女性部フードドライブ



年金感謝デー



支所花壇作り



いちご定植

稲刈り体験

田植え体験

2. JA運営に参画できる仕組み・声を聴く「場」づくり



粕屋農業まつり



准組合員モニター農業体験



支所だより



JA 広報誌「KASUYA Plus」

3. 広報活動の取り組み

SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。この17の目標からJA粕屋での該当する取り組みを表示しています。